

## <市町村の関連計画の現状整理>

(令和元年度東海岸サンライズベルト構想に係る基礎調査)

### 資料目次

- 1. 上位・関連計画リスト . . . . . P 1
- 2. 産業振興(IT/製造業/農水産業/商工業) . . . . . P 2
- 3. 観光関連(観光拠点/MICE施設の活用/スポーツ観光/他産業との連携/情報発信・環境整備/宿泊施設) . . . P 5
- 4. 拠点形成等(拠点形成/公園・緑地の整備/自然環境及び歴史文化の保全・活用) . . . . . P 9
- 5. インフラ(広域幹線道路及び交通ネットワーク/既存の公共交通/新規公共交通/中城湾の利用) . . . . . P 1 2



# 1. 上位・関連計画リスト

沖縄県	沖縄市	うるま市	北中城村	中城村	西原町	与那原町	南城市
<p>沖縄21世紀ビジョン 基本計画 (平成29年5月改定)</p> <p>目標年次：令和3年(2021年)</p>	<p>第4次沖縄市総合計画 (基本構想、後期基本計画) (平成28年3月)</p> <p>目標年次：令和2年(2020年)</p>	<p>第2次うるま市 総合計画 基本構想・ 前期基本計画 (平成29年3月)</p> <p>目標年次：令和3年(2021年)</p>	<p>北中城村第四次 総合計画 基本構想・ 後期基本計画 (令和2年3月)</p> <p>目標年次：令和6年(2024年)</p>	<p>中城村第四次 総合計画 基本構想・ 基本計画(前期) (平成24年3月)</p> <p>目標年次：平成28年(2016年)</p>	<p>西原町 まちづくり指針 (平成30年3月)</p> <p>目標年次：令和2年(2020年)</p>	<p>第4次与那原町 総合計画 (平成23年度策定)</p> <p>目標年次：平成30年(2018年)</p>	<p>第2次南城市 総合計画 (平成30年3月)</p> <p>目標年次：令和4年(2022年)</p>
<p>中部広域都市計画 「都市計画区域の 整備、開発及び 保全の方針」 (平成29年6月)</p> <p>目標年次：令和2年(2020年)</p> <p>那覇広域都市計画 「都市計画区域の 整備、開発及び 保全の方針」 (平成29年6月)</p> <p>目標年次：令和2年(2020年)</p> <p>南城都市計画 「都市計画区域の 整備、開発及び 保全の方針」 (平成29年6月)</p> <p>目標年次：令和2年(2020年)</p>	<p>沖縄市都市計画 マスタープラン (平成22年3月改定)</p> <p>目標年次：令和7年(2025年)</p>	<p>うるま市都市計画 マスタープラン (平成22年3月)</p> <p>目標年次：令和12年(2030年)</p>	<p>北中城村都市計画 マスタープラン (平成20年3月)</p> <p>目標年次：令和2年(2020年)</p>	<p>中城村都市計画 マスタープラン (平成31年3月)</p> <p>目標年次：令和18年(2036年)</p>	<p>西原町都市計画 マスタープラン (平成29年12月一部改定)</p> <p>目標年次：令和12年(2030年)</p>	<p>与那原町都市計画 マスタープラン (平成H30年6月一部改訂)</p> <p>目標年次：令和12年(2030年)</p>	<p>南城市都市計画 マスタープラン (改定版) (平成27年11月改定)</p> <p>目標年次：令和7年(2025年)</p>
<p>第5次沖縄県観光振興 基本計画 (平成29年3月改定)</p> <p>目標年次：令和3年(2021年)</p>	<p>沖縄市観光 振興基本計画 (平成29年)</p> <p>目標年次：令和3年(2021年)</p>	<p>第2次うるま市 観光振興ビジョン (平成29年3月)</p> <p>目標年次：令和8年(2026年)</p>	<p>北中城村観光 振興基本計画 (平成28年5月)</p> <p>目標年次：令和2年(2020年)</p>	<p>中城村観光 振興計画 (平成30年3月)</p> <p>目標年次：令和9年(2027年)</p>	<p>西原町観光 振興計画 (平成30年3月)</p> <p>目標年次：令和9年(2027年)</p>	<p>与那原町 観光実施計画 (平成30年2月)</p> <p>目標年次：令和4年(2022年)</p>	<p>第2次南城市 観光振興計画 (平成30年3月)</p> <p>目標年次：令和9年(2027年)</p>

## 2. 産業振興

沖縄県：○21世紀ビジョン基本計画 ○広域都市計画 ○観光関連計画等  
市町村：○総合計画 ○都市計画マスタープラン ○観光関連計画等

産業振興	沖縄県	沖縄市	うるま市	北中城村	中城村	西原町	与那原町	南城市
IT	<p>■情報通信関連産業の立地</p> <p>①今後拡大が見込まれるIoTやAIビジネス関連事業者等を誘致</p> <p>②重要データのバックアップ拠点やシステム開発の分散拠点の形成に向けた取組を推進</p> <p>③情報通信基盤の高度化と情報通信関連産業の集積、県内立地企業の高度化・多様化を推進</p> <p>■県内企業の高度化・多様化</p> <p>④IT先進地との関係構築を促進することにより産業の高付加価値化を図る</p> <p>⑤情報通信技術の積極的な活用による新たなサービスの創出を促進</p> <p>■沖縄IT津梁パーク</p> <p>⑥アジアIT研修センターの機能強化を図る</p> <p>⑦市町村等による情報通信関連企業の入居施設の整備促進や、集積拠点間の通信網強化を図る</p>	<p>■観光振興</p> <p>①VRやAI等、進化する最先端技術に対応することを含め、ICTの活用による観光振興に取り組む</p> <p>②外国人観光客の滞在状況や消費行動などの把握や他地域との比較など、ICTによる統計データの活用を進める</p>	<p>■情報通信関連産業の立地</p> <p>①IT事業支援センター、舞天館、じんぶん館等の産業振興拠点施設を活用し、入居企業就業者の働きやすい環境の整備</p> <p>■人材育成</p> <p>②エンジニア、IT技術者、物流関連従事者等の各種研修を行い、企業の必要とする人材を育成</p> <p>③I・U・Jターン人材のマッチングや、立地企業への人材紹介などのできる支援体制を構築し、効果的な人材確保を支援</p>	<p>■情報発信</p> <p>①ISCO（一般財団法人沖縄ITイノベーション戦略センター）と連携し、村内IT関連産業の振興及び地域でのITの普及・利活用を促進</p> <p>②ICTを活用した迅速な情報提供など、災害時における外国人対応について強化を図る</p>	<p>■情報発信</p> <p>①SNSをはじめとしたICTを活用した広報、PRの充実を図る</p>		<p>■観光振興</p> <p>①IoTやAIの技術動向を注視しつつ、デジタルマーケティングやコンテンツ開発等に活用</p>	<p>■観光振興</p> <p>①新たなICT技術（IoT、AI、ビッグデータ等）の活用</p>
製造業	<p>■製造業の振興</p> <p>⑧製品開発からブランド構築に至る総合的かつ戦略的に支援</p> <p>⑨県外製造業や研究機関等との人的交流を推進し、高度な技術や専門知識を有する人材の育成・確保</p>		<p>■製造業の進行</p> <p>④製造関連産業、情報通信産業、物流関連産業を中心とした成長産業を担う企業の誘致を促進</p> <p>⑤製造関連産業の活性化のため、国・県と連携して物流機能の拡充を図る</p>				<p>■製造業の進行</p> <p>②ヤチムン製造の技術を継承し、近代的な製法を取り入れた技術革新で、新たな市場の開拓を進める</p>	
農水産業	<p>■農業振興</p> <p>⑩読谷村、うるま市、沖縄市北部に多く存在する優良農地の維持・保全に努める</p> <p>⑪優良農地の利用集積や経営規模の拡大を図りつつ、農業生産法人などの育成・強化に努める</p> <p>■水産業振興</p> <p>⑫うるま市などのモズク養殖業やパヤオ漁業の盛ん</p>	<p>■農業振興</p> <p>③集落環境保全地区（池原・登川・古謝・大里・比屋根・与儀などの集落域については伝統的な集落形態及び農業環境との調和に配慮しつつ、集落環境を保全</p> <p>④農業の振興により農業生産の安定化を図る（6次産業の促進、ちゃんぶる一市場）</p>	<p>■農業振興</p> <p>⑥亜熱帯農業の確立に必要な農用地の確保と整備を図る</p> <p>⑦農振農用地及びその周辺において関連施設等の整備により営農環境の保全を推進</p> <p>⑧照間のピーグ畑は地域の貴重な田園景観として保全に努める</p> <p>■水産業振興</p>	<p>■農業振興</p> <p>③戦略的農業の推進（多様な交流型農業の展開、アンテナショップなどを活用した流通促進、地産地消など各産業との連携）</p> <p>④産地形成および生産力の高い農地確保に向けて、農地中間管理事業により、遊休農地の集積、有効活用を図る</p>	<p>■農業振興</p> <p>②収益向上のための取り組みの推進（農業施設の整備、環境保全型の農業の確立、市場銘柄の確立、農業経営の近代化・合理化及び農家経営の共同化・法人化の促進、農産物流通の円滑化）</p> <p>③後継者の育成（先進的な農家経営に取り組む農家の育成、認定農業者制度</p>	<p>■農業振興</p> <p>①本町の基幹作物であるさとうきびは関係団体と連携し生産向上に努める</p> <p>②園芸作物は集積性の高い品目の栽培や品質の向上と安定出荷を推進</p> <p>■水産業振興</p> <p>③与那原・西原町漁業協同組合及び西原支部との連携を強化</p>	<p>■農業振興</p> <p>③大見武区、板良敷区、当添区等に位置する農用地は農業生産の中心となる地区であるため、保全・活用を図る</p> <p>④農地の保全（地域に則した農業振興の展開）</p> <p>⑤農業の近代化・高度化の促進（農業経営基盤強化促進事業や農地利用集積</p> <p>■水産業振興</p> <p>⑤漁場の保全と資源管理型漁業、つくり育てる漁業の促進</p>	

産業振興	沖縄県	沖縄市	うるま市	北中城村	中城村	西原町	与那原町	南城市
	<p>な地域において、関連施設の整備や老朽化した漁港・漁場等生産基盤施設の維持更新を推進</p> <p>⑬水産物加工品の開発促進による高付加価値化、水産資源の持続的利用に向けた資源管理型漁業の展開を図る</p>	<p>■水産業振興</p> <p>⑤漁業経営の安定化と水産資源の持続的利用に向けた水産業の振興(資源管理型漁業の展開、水産物の加工販売施設の充実や地産地消の推進)</p> <p>■他産業との連携</p> <p>⑥観光をはじめ多様な産業と連携するアグリビジネスや水産資源を活用したブルーツーリズム等、農水産業を基調とする新ビジネスを推進</p>	<p>⑨港湾及び漁港については、周辺環境に配慮しつつ漁業振興のために関連施設等の整備を促進</p> <p>⑩中城湾港津堅地区は、漁船の安全性、利便性を確保するため、防波堤などの施設の整備を促進</p> <p>■環境整備等</p> <p>⑪持続性の高い経営体の育成と生産環境づくりの推進</p> <p>⑫生産性が高く収益につながる生産基盤の形成</p> <p>⑬うるまブランドの形成と販路展開の確立</p> <p>⑭地域資源を活用して豊かで活力ある農漁村の創出</p>	<p>⑤農業経営の安定化(関係機関と連携し、農家の営農・経営指導の強化、市場ニーズに応じた生産・流通体制の構築などにより、村内農業の安定に向けた取り組みを促進)</p> <p>■水産業振興</p> <p>⑥養殖漁業の拡充(アーサの漁獲量に応じた加工処理施設の整備支援を検討)</p> <p>⑦水産基盤の強化と生産性向上(アンテナショップを中心に水産物加工製品等の流通)</p>	<p>の推進及び農業経営の改善に向けた支援)</p> <p>④新たな農業施策の展開(農業生産環境の改善、工場の導入に向けた支援、産学官連携、条例に基づく施策の実施、都市近郊農業の推進、県内市場における生産拡大、農業施策の導入)</p> <p>⑤遊休農地の管理・活用方法の検討(農業体験等による意識向上と活性化、希望者への遊休農地の斡旋事業、人材育成と遊休農地の解消、遊休農地等における管理指導、パンフレット等による周知、農地所有者と利用希望者とのマッチング)</p> <p>■水産業振興</p> <p>⑥生産基盤の強化(漁港及び関係施設の拠点機能強化、沿岸漁場の整備促進)</p> <p>⑦漁業経営の近代化(漁船規模位の適正化や装備の拡充及び漁法の改善等による近代化、栽培・養殖漁業や沖合漁業等の新たな展開、観光レクリエーションへの対応)</p> <p>⑧漁場環境の保全(海域汚染の防止)</p> <p>⑨生産組織活動の活性化(漁業協同組合への支援、後継者育成の支援施策推進や漁業従事者への経営指導)</p>	<p>④漁業の振興及びよりよい漁業環境づくりに取り組む</p> <p>■その他</p> <p>⑤畜産業は農家の所得向上に向けた飼育技術の支援を行い、生産拡大を推進</p>	<p>円滑化事業の活用、支援充実による農業高度化)</p> <p>⑥特産品の創出とブランド化の促進(特産品のブランド化、情報発信力の向上及び販路の拡大)</p> <p>⑦地産地消の推進と食の安全性の向上(食育活動の充実、安全性の向上)</p> <p>⑧人材育成と新規就農者の獲得(後継者の育成や人材確保、新しい農業経営の推奨、支援体制の強化)</p> <p>■水産業振興</p> <p>⑨漁場の維持と漁業環境の整備(環境美化活動や下水道接続の促進、漁場関連施設の拡充)</p> <p>⑩資源の安定確保とブランド化の推進(市場への安定供給、付加価値のある二次加工品の開発及び販路の拡大、積極的な情報発信)</p> <p>⑪人材確保と後継者育成(人材の確保・後継者育成、組合の体質強化と経営改善の支援)</p>	<p>⑥漁港の機能確保と施設整備の充実</p> <p>⑦担い手や後継者の確保と育成</p> <p>■付加価値向上と安定経営支援</p> <p>⑧ブランド化の推進と流通経路の確立・強化</p> <p>⑨有力作物の拠点産地化</p> <p>⑩一次産業の経営力の強化と安定化</p> <p>⑪地域特性に合った6次産業化に向けた取り組みの推進</p> <p>■農水産業の成長産業化</p> <p>⑫産地づくり・生産性の向上(高品質・安定生産につながる支援、生産基盤の整備)</p> <p>⑬成長産業化・6次産業化(ブランド化・6次産業化による収益性の向上、漁獲物の高鮮度化や加工など漁業者の取り組みへの支援)</p> <p>⑭産業基盤を支える(地域農業の新たな担い手の育成支援、農地の有効活用、気象災害リスクの低減)</p>
商工業	<p>■商業振興</p> <p>⑭産業高度化・事業革新促進地域制度(産業イノベーション制度)を活用した新事業の創出等を図る企業を支援</p> <p>⑮産業高度化又は事業革新に取り組む企業の立地を促進し、地域産業の更なる振興を図る</p> <p>■工業振興</p> <p>⑯平安座の石油関連施設や石川の埋め立て地についても継続して臨海部とい</p>	<p>■商業振興</p> <p>⑦コザ十字路一帯は銀天街商店街において商業機能の充実を図るとともに、ファッション、アートなどをテーマにした商業空間を形成</p> <p>⑧諸見里、山里、久保田一帯は沿道の商業・業務機能の充実を図り、胡屋十字路からの連続性を確保</p> <p>⑨美里、泡瀬は地域商業地区として形成を図る</p> <p>■工業振興</p>	<p>■商業振興</p> <p>⑮具志川赤道周辺及び具志川前原周辺は大型の商業施設が集積する拠点として位置付け</p> <p>⑯安慶名市街地や石川市街地周辺は商業・業務施設等の集積を図り、中心核としての整備</p> <p>⑰江洲、赤道は商業・業務・サービス施設の集積を進め商業拠点の形成を促進</p>	<p>■商工業振興</p> <p>⑧中城湾港新港地区の背後地にある立地を活かした新規産業等の誘致</p> <p>⑨新規産業の誘致・育成等をはじめ、情報通信産業を振興</p> <p>⑩ライカム地区における医療・福祉関連の雇用促進</p> <p>⑪中小企業の経営改善に向けた指導や相談体制の充実を図る</p> <p>⑫北中城村雇用サポートセンターにおいての就業支</p>	<p>■商工業振興</p> <p>⑩地元企業育成の推進(商工会の円滑な運営確保に向けた支援、講習会や研修会の開催、地元雇用の拡大、公共事業の村内発注及び資材の地元調達、経営者の意識高揚や事業経営の近代化及び合理化の促進、事業経営の健全化)</p> <p>⑪村民ニーズに対応した企業誘致の実施(金融機関や商業関連施設及び宿泊</p>	<p>■商業振興</p> <p>⑥町商工会や関係機関・団体等との連携強化を図るとともに、新たな雇用創出の確保</p> <p>⑦地元企業への公共事業の優先発注、町産品優先使用などを引き続き推進</p> <p>⑧新駅周辺商業地～既存近隣商業地は商業・業務ビル等の誘致を図るとともに、台地部市街地の中核的商業地として土地利用を誘導</p>	<p>■商業振興</p> <p>⑫国道331号、県道南風原与那原線、県道糸満与那原線沿道を戸建住宅、集合住宅、業務施設、店舗等が立地する複合的な地区として位置づけ</p> <p>⑬新島・中島・港地区の地区内にみられる空地について、ポケットパークや駐車場等の整備により、地域住民や来街者が歩いて楽しむことができる中心市街地の形成を図る</p>	<p>■商工業振興</p> <p>⑮広域交通の利便性の高い各IC周辺を中心に産業の拠点を形成</p> <p>⑯商業の振興(市民および観光客の利便性を考慮した商業施設の立地推進)</p> <p>⑰南城市にふさわしい魅力的な企業立地の推進(各種計画に基づいた本市にふさわしい企業立地の推進)</p> <p>⑱経営支援(小規模事業者の経営力強化、商工会等</p>

産業振興	沖縄県	沖縄市	うるま市	北中城村	中城村	西原町	与那原町	南城市
	<p>う特性を活かして工業地を配置</p> <p>⑰中城村泊伊舎堂地区は新たな工業地として火力発電所及び関連企業等を配置</p> <p>■中城湾港</p> <p>⑱中城湾港において、健康・バイオ等関連分野における新規企業創出やものづくりを支えるサポート産業の振興を図るとともに、高付加価値・高度部材産業の立地を促進</p> <p>⑲中城湾港新港地区の産業支援港としての機能の充実・強化(国際物流拠点産業集積地域うるま・沖縄地区を中心に高付加価値・高度部材産業並びに情報通信産業の拠点形成を図る)</p> <p>■その他</p> <p>⑳西原町臨海部の石油関連施設は公害防止に留意しつつ機能を維持</p>	<p>⑩武当など内陸部においては、既存の工場・住宅地との調和を図るとともに、既存産業の振興と新たな企業の立地を促進</p> <p>⑪多面的な農商工連携によるものづくり産業の振興</p> <p>⑫中城湾港新港地区においては、流通・加工・情報分野の産業や研究機関などの集積を促進</p> <p>⑬泡瀬漁港を中心とする地域においては、漁港及びマリナーを中心に交流と賑わいのある空間の形成を図る他、個性ある景観形成を促進</p> <p>⑭中小企業の振興と企業誘致を推進(サーキット整備に合わせた内陸部準工業地域における自動車関連産業の誘致)</p> <p>⑮ものづくり産業の基盤強化を図る(工芸産業などが集積する活動拠点の整備、中城湾港新港地区において物流拠点として港湾機能の充実や取扱貨物量の増加、内陸部準工業地域の企業誘致)</p>	<p>⑯勝連平安名及び与那城屋慶名は市民の生活拠点となる近隣商業地として、商業や業務・サービス、公共施設等の集積を促進</p> <p>⑰賑わいのある商業の振興(中心市街地活性化基本計画の策定、イベントや交流事業等の活動支援)</p> <p>⑱商業活性化への支援(経営基盤の強化、支援体制の充実、創業希望者への相談支援)</p> <p>⑲地場産業の振興(特産品を使用した商品開発の支援、観光・農林水産業等と連携した地場産業の振興、ビジネスマッチング)</p> <p>⑳成長産業の育成・支援(中城湾港新港地区に立地する企業を対象とした各種支援事業の実施、研究開発型ベンチャー企業等への支援)</p> <p>㉑企業誘致の推進(企業誘致推進員の配置、立地企業のフォローアップ並びに環境整備)</p> <p>㉒人材の確保・育成(人材育成、人材のマッチング、働きやすい環境整備)</p> <p>■工業振興</p> <p>㉓中城湾港新港地区や平安座島、石川赤崎地区は、工場や研究施設、IT・通信施設、物流施設等の工業系施設が集積する拠点として位置付け</p> <p>㉔中城湾港新港地区は良好な生産環境を有した工業用地を形成</p>	<p>援相談体制の強化に努める</p>	<p>施設の誘致、発電所の冷熱エネルギー活用促進と関連企業の誘致</p> <p>⑫小規模企業の組織化の推進</p> <p>⑬地域購買コミュニティの維持(既存商店の拡充や専門店の育成促進、地域購買コミュニティ育成)</p> <p>⑭工業の育成(既存工業の育成に向けた支援、適正業種の誘致による新規工業の育成推進)</p> <p>⑮企業立地環境の改善(将来にわたる企業の定着発展、沖縄中部圏域産業活性化基本計画に基づく産業の集積)</p>	<p>⑨小那覇交差点付近(旧庁舎跡地含む)は、中心商業地(商業系ゾーン)として位置付け</p> <p>⑩現町庁舎用地は売却や商業機能への転換など具体的な方向を検討</p> <p>⑪国道329号及び県道38号線沿道は生活関連サービスを主体とする複合的な業務地の形成を図る</p> <p>⑫海岸沿いのレクリエーション・レジャー施設用地及び季節の商業施設と連携したMICE来場客と位置づけ多様な商業・宿泊施設及び支援施設等の立地を誘導</p> <p>■工業振興</p> <p>⑬小那覇工業専用地域などへの企業誘致、企業立地に対する課税免除などを推進</p> <p>⑭町内に点在する工場等は産業ゾーンへの積極的な移転・集約を図る</p> <p>■その他</p> <p>⑭6次産業化に向けた農商工連携の推進</p>	<p>⑭マリナー利用者等に対応した商業機能の立地を想定</p> <p>⑮中心市街地の形成(商業拠点の形成、中心市街地における回遊性の確保、中心市街地のバリアフリー化)</p> <p>⑯商業の振興(リゾート対応の商業施設の誘致、情報発信の充実、商店街の活性化・近代化及び経営安定化、空き店舗や空き地の有効活用、魅力ある賑わいの場の創出)</p> <p>■工業振興</p> <p>⑰上与那原区のヤチムン工場が集積する地区は伝統産業の育成を図る工業地区として位置づけ</p> <p>⑱窯業など地場産業の活性化(赤瓦や煉瓦の活用、需要の拡大に向けた取り組み)</p> <p>⑲地場産業やものづくり企業の技術継承と人材育成(新たな市場の開拓、経営改善に向けた友好的な活用支援、技術の継承と人材の育成)</p>	<p>の支援、新しい産業の創出に関する検討と支援、企業に関する支援)</p>

### 3. 観光関連

沖縄県：○21世紀ビジョン基本計画 ○広域都市計画 ○観光関連計画等  
 市町村：○総合計画 ○都市計画マスタープラン ○観光関連計画等

観光関連	沖縄県	沖縄市	うるま市	北中城村	中城村	西原町	与那原町	南城市
観光拠点	<p>■中城湾港</p> <p>①中城湾港泡瀬地区において海洋レクリエーション機能を有した東部海浜開発事業の導入を推進するとともに、クルーズ船の受入体制の強化やスポーツコンベンション拠点の形成を図る</p>	<p>■コザ・ミュージックタウン等</p> <p>①胡屋十字路一帯を本島中部の広域的な商業拠点として位置づけ、コザ・ミュージックタウンを中心として商業機能、コンベンション機能、観光機能の立地を促進</p> <p>■(仮称)沖縄多目的アリーナ</p> <p>②滞在型観光の推進と地域経済の活性化に寄与するよう、(仮称)沖縄市多目的アリーナおよび周辺環境の整備に取り組む</p> <p>③(仮称)沖縄市多目的アリーナや(仮称)沖縄サーキットの整備等、新たな観光資源の創出に向け取り組んでいる</p> <p>■沖縄こどもの国</p> <p>④こどもの国公園は体験学習の場としての整備や、観光施設としての機能拡充を図り、魅力的な公園づくりに努める</p> <p>⑤沖縄こども未来ゾーン(沖縄こどもの国)等観光施設におけるにぎわいの創出</p> <p>■その他</p> <p>⑥嶽山原、倉敷ダムから比謝川に至る緑地・水辺を地域資源として保全しつつ、観光及び市民レクリエーション等の場として活用を図る</p>	<p>■勝連城跡</p> <p>①勝連城跡を文化観光拠点として整備し観光振興を図る</p> <p>②勝連城跡周辺においては憩い・交流の場、観光・レクリエーションの拠点として公園の整備を推進</p> <p>■海中道路及び周辺</p> <p>③海中道路や津堅島等多くの海洋レジャーに適した海浜は、毎年多くの観光客が訪れ、賑わいを見せている</p> <p>④周辺市町村との連携を図り、クルーズ船の受け入れ等の広域的な観光対策を実施し、圏域全体での観光客誘致を推進</p> <p>⑤海中道路周辺や風光明媚な海浜は、海洋レジャーのメッカとして観光客や県民に利用されている</p> <p>■その他</p> <p>⑥あやはし館や石川多目的イベント公園(石川ドーム)等の既存観光資源の充実や、新たな観光施設の拠点整備</p>	<p>■中城城跡周辺</p> <p>①中城城跡周辺の景観整備</p> <p>②中城城跡周辺をはじめ、あやかりの杜を含む喜舎場丘陵一体の地域は、豊かな自然環境や歴史文化資源と一体となった学習・レクリエーション空間の形成を進め、村の振興につながる利活用を目指す</p> <p>③中城城跡や、御嶽やカー(井戸)等歴史文化資源を活用した特色ある地域づくりと景観形成</p> <p>■その他</p> <p>④北中城村観光案内所を活用し、ライカム地区広域交流拠点や中城城跡、観光主要施設等から村内各地域への誘客や交流人口の増加に努める</p> <p>⑤東海岸域整備計画でのスポーツ・レクリエーション施設の整備</p> <p>⑥ライカム地区における医療拠点を中心に、民間事業所と連携し、国内外からのヘルスツーリズムの誘致に取り組む</p>	<p>■中城城跡</p> <p>①中城城跡の計画的な保全整備とともに、景観保護を進める</p> <p>②中城城跡とその周辺地域は関係機関と連携し県営中城公園の整備を促進</p> <p>■歴史の道(ハンタ道)</p> <p>③歴史の道(ハンタ道)の活用を促進</p> <p>④歴史の道(ハンタ道)の計画的な保存整備事業を推進するとともに、国史跡指定範囲以外の区間についても、追加指定に向けて取り組み</p> <p>⑤歴史の道(ハンタ道)の国史跡に指定された範囲について公有化事業を進め、優先して近世屋敷跡の再整備を推進</p> <p>■その他</p> <p>⑥村内に分布する歴史資源は文化財としての保全を図り、観光拠点として活用を推進</p>	<p>■内間御殿</p> <p>①文化遺産として整備を進めるとともに、周知活動を図り、地域への誇りや文化財保護思想を醸成</p> <p>■その他</p> <p>②西原町観光振興計画(仮称)を策定し、本町のさらなる活性化と観光拠点づくりを推進</p>	<p>■東御廻り等</p> <p>①地域にある資源の発掘と伝統文化である大綱曳や東御廻り等の史跡を活かした観光振興を図る</p> <p>■海浜レクリエーション</p> <p>②東浜地区のマリーナは、海洋性レクリエーション施設として観光リゾート空間としての活用が想定される</p> <p>③マリーナ・水路を活かした海洋レクリエーション拠点を形成し、観光資源の創出を図る</p> <p>④ウォーターフロントの特性を活かした散策路やポケットパークの整備等により、中心市街地における回遊性の確保に取り組む</p> <p>⑤県と一体となって、マリーナ整備、シンボル緑地・文化交流施設等の関連施設の整備を推進し、海洋レクリエーション拠点の形成を図る</p> <p>■その他</p> <p>⑥県道糸満与那原線から与那原地区では、親水空間として整備・活用を図る</p> <p>⑦本島南部や東海岸地域の広域的連携による観光・教育旅行等の誘致及び体験型観光の整備・開発を推進</p>	<p>■IC周辺</p> <p>①佐敷・玉城 IC 周辺では、観光・交流の拠点機能も有する、まちの顔としてのサービス地を形成</p> <p>②IC 周辺や公共施設等の周辺では、来訪者・観光客の利便性に配慮した、観光案内サービス機能の整備を図る</p> <p>■斎場御嶽周辺</p> <p>③駐車場から斎場御嶽までの区間を参道として修景を検討</p> <p>④斎場御嶽への訪問の集中を避け、周辺の史跡に人が訪れるようにするため、周辺史跡の規模や自然環境に配慮した駐車場やリターンスペースの整備を実施</p> <p>■その他</p> <p>⑤エコミュージアム、観光コア施設に関する取り組みの推進</p> <p>⑥南城観光コア施設整備基本計画を策定、これをもとに核施設を展開(新庁舎横に配置)</p>
MICE施設の活用	<p>■MICE施設の活用</p> <p>②沖縄観光に“ビジネスツーリズム”という新機軸を打ち出し、戦略的なMICE振興を推進することにより、国際的なMICE開催地としてのブランドを確立</p> <p>③MICEを沖縄経済成長のプラットフォーム(ソフトインフラ)として新たに位置付け、MICE推進による各産業分野の</p>			<p>■他市町村との連携</p> <p>⑦MICE施設が誘致される本島東海岸地域の市町村との連携に努める</p>		<p>■MICEとの連携</p> <p>③大型MICE施設周辺の土地利用見直し</p> <p>④大型MICE施設建設事業や周辺の環境整備に伴う公共交通機関の整備については関係機関と連携して促進を図る</p> <p>⑤大型MICE施設周辺エリアである西原町及び東海岸地域の開発促進及び魅力あるまちづくりを推進し地域活性化の拠点と</p>	<p>■MICE施設の活用</p> <p>⑧東浜地区ではマリーナの供用開始や大型MICE施設の誘致が決定する等、観光レクリエーションの充実が期待される</p> <p>⑨マリンタウン東浜地区は大型MICE施設用地として活用</p> <p>■周辺環境の整備</p>	<p>■MICE施設の活用</p> <p>⑦大型MICE施設の取組と連携した観光プログラム等の検討(南部観光チャイスイプラン等)</p>

観光関連	沖縄県	沖縄市	うるま市	北中城村	中城村	西原町	与那原町	南城市
	<p>成長発展と都市ブランド力の向上を図る</p> <p>④MICEを活用した産業振興とMICE関連産業の創出を視野に入れた戦略的な取組を展開</p> <p>⑤中城湾港マリンタウン地区に建設予定の大型MICE施設の整備を進めるとともに、地域との連携による施設運営を行う</p> <p>⑥各種MICEの地元自治体と連携した誘致体制を強化するとともに、地元事業者等によるMICE関連ビジネスの振興に取り組む</p>					<p>してにぎわいのあるまちづくりを目指す</p>	<p>⑩大型MICE施設の開業に伴う観光客の増加に対する受け入れ体制の強化</p> <p>⑪大型MICE施設支援地域の来訪者受け入れ体制の強化や周辺環境の大型MICE施設と一体となった整備</p> <p>⑫東浜地区の人口増加やリゾート関連客の流入増加による新たな商業需要に対し、リゾート対応の商業施設の誘致を進める</p> <p>⑬大型MICE施設の開業に伴い増加が見込まれる、観光客の受け皿となる観光産業の発展</p>	
スポーツ観光	<p>■スポーツ観光</p> <p>⑦スポーツコミッション沖縄を活用し、各種キャンプ・大会を誘致する等スポーツ・ツーリズムを推進</p>	<p>■スポーツ観光</p> <p>⑦スポーツコンベンションの充実を図り、観光とリンクした魅力を創造</p> <p>⑧スポーツコンベンションシティとしての基盤強化</p>	<p>■スポーツ観光</p> <p>⑦各種スポーツの合宿地としての環境整備やイベント等の開催を誘致し、スポーツツーリズムの推進に向けて協議会の立ち上げ等に取り組む</p>	<p>■スポーツ観光</p> <p>⑧アワセ土地区画整理区域にスポーツ施設を整備</p>	<p>■スポーツ観光</p> <p>⑦スポーツキャンプ・各種大会等の誘致</p> <p>⑧プロ、アマスポーツのキャンプ(合宿)を接客的に誘致</p>	<p>■スポーツ観光</p> <p>⑥ビーチバレーボールも含めた競技大会やプロサッカーチームなどのキャンプ誘致や定着化に努める</p>	<p>■スポーツ観光</p> <p>⑭マリーナや水路を活かしたマリンスポーツ活動を支援する必要がある</p>	
他産業との連携	<p>■他産業との連携</p> <p>⑧農林水産業との連携を図り、グリーン・ツーリズムやブルー・ツーリズムについて更なる展開を図る</p>		<p>■他産業との連携</p> <p>⑧地域の特性・資源を活かし、観光産業と連携した体験型観光商品の開発を行い、観光振興を図る</p> <p>⑨観光消費拡大の仕掛けづくり</p> <p>⑩観光推進体制の構築とマーケティングの推進</p>	<p>■他産業との連携</p> <p>⑨農地保全地域は、優良農地の保全を図るとともに、観光交流等多様な産業との連携のもとで、農用地の有効利用を推進</p> <p>⑩あーさ等の特産品や、飲食店をテーマとした観光資源の開発を推進</p> <p>⑪村や地域ごとの各種行事を活用した観光・交流機会の拡充を図るとともに、多様なイベント等の開催を促進</p> <p>⑫地域資源を活かした地域ブランドの構築、官民連携した販路開拓</p>		<p>■他産業との連携</p> <p>⑦農水産物流通・加工・観光拠点施設を整備し、産業振興と地域活性化を図る</p> <p>⑧農商工と観光が連携した地場産業の活性化</p> <p>⑨地域資源と観光コンテンツを繋ぎ合わせる</p>		
情報発信・環境整備	<p>■環境整備</p> <p>⑨観光客が必要とする観光情報を滞在拠点で入手できる観光案内所のネットワーク化を促進</p> <p>⑩案内板やサイン表示について、景観や街並みに配</p>	<p>■情報発信</p> <p>⑨情報発信や観光土産商品の認知度の向上</p> <p>⑩観光情報発信の機会拡大</p> <p>■環境整備</p> <p>⑪ICT活用による観光振興</p>		<p>■情報発信</p> <p>⑬観光ポータルサイトの構築、観光案内冊子の制作、観光案内所の運営</p> <p>⑭戦略的な市場開拓やプロモーションの展開</p> <p>■環境整備</p>	<p>■情報発信</p> <p>⑨観光プロモーションの充実</p> <p>■環境整備</p> <p>⑩受入環境づくり、基盤づくりへの対応</p>	<p>■情報発信</p> <p>⑩観光キャラクター「さわりん」による本町の知名度向上と地域活性化</p> <p>⑪観光マップやポータルサイトなどを活用したPR</p>	<p>■情報発信</p> <p>⑧観光客の属性に応じた効果的な誘客プロモーションの展開</p> <p>■環境整備</p> <p>⑨地震や津波等の発生時における観光客の安全を確</p>	



観光関連	沖縄県	沖縄市	うるま市	北中城村	中城村	西原町	与那原町	南城市
	慮しながら目に付き分かり易いよう整備拡充及び多言語化を図る ⑪観光客が利用できるインターネット環境の整備拡充、ICTを活用した観光客の利便性向上を図る ⑫災害などの有事における観光客の安全確保について警察・消防と連携 ⑬災害などの有事発生時に観光客の帰宅支援等を実施			⑮外国語による案内サインやパンフレット整備等 ⑯Wi-Fi等情報通信技術を活用した観光案内について検討 ⑰情報インフラ、外国人受入環境整備、人材育成の推進、観光地景観形成、ユニバーサルデザインの検討 ■その他 ⑱日本版DMOを目指した観光協会の設立、観光振興に取り組む体制の構築 ⑲観光協会(DMO)の設立、観光振興アクションプランの策定	⑪受入体制整備とおもてなしの充実 ■その他 ⑫行政と村民の協働や体制作り ⑬官民協働による賑わいづくり	⑫西原ブランドの形成と情報発信により知名度UPを図る ⑬ブランド発信・PRの推進 ■環境整備 ⑭地域産業の技術や商品を観光振興に活用し、地域産業全体を活性化 ⑮交流促進と観光人材の育成		保するため、広域連携による観光危機管理体制の整備が必要 ⑩観光危機管理に関する広域連携および、市内観光連携団体との連携体制の充実
宿泊施設	■宿泊施設の環境整備 ⑭民泊の安全対策など環境整備を行う	■宿泊施設の誘致 ⑫観光関連施設等を整備するとともに、民間宿泊施設の誘致に取り組む	■宿泊施設と観光の連携 ⑪観光資源、観光拠点と連携して宿泊施設の誘致や滞在施設の民間での整備を促進 ⑫宿泊施設の確保、着地型観光による体験・交流活動の推進 ⑬観光物産協会や関連団体等と連携し民泊を推進		■宿泊施設と観光の連携 ⑭食事と土産物等のサービスを複合的に提供することのできる施設や宿泊施設の誘致を検討 ⑮県内の宿泊施設や他観光施設との連携を強化 ⑯民泊受け入れによる農業体験プログラム等を検討 ⑰グリーン・ツーリズムへの取組を推進するとともに、民泊に対する支援に努める		■宿泊施設の誘致 ⑮MICEエリア外も含めた適正な場所へ宿泊施設の立地を検討 ⑯マリントウン・ベイサイド・ビスタの未分譲地にはショッピングモール等を併設したホテルやリゾートスタイルのホテルの誘致に努める ⑰与那原マリーナ北側の緑地には大型MICE施設の利用者を対象としたハイクラスのホテルの誘致 ⑱バスセンター用地は、交通結節機能等を配置するとともにMICEビジネスに関連する従事者を対象としたホテルの誘致	
その他		■既存の観光資源の活用 ⑬エイサーやスポーツ、音楽・文化をはじめ、工芸・歴史・景観・自然環境等、魅力的な地域資源を活かした着地型観光に取り組み、創造的観光を推進 ⑭体験型観光メニューや既存観光資源の活用	■景観 ⑭昆布や高江洲、宮里、江洲等の斜面地や高台からの景観の維持・保全 ⑮観光スポットや多くの人々が行き交う道路や施設等では地域景観と調和した計画的な景観づくりを推進 ⑯県道75号線(沖縄石川線)や県道16号線等の幹線道路沿い、安慶名地区等のまち並みの景観向上 ⑰県道33号線(具志川沖縄線)や県道16号線での電	■多様な観光 ⑳スポーツ・医療・伝統芸能等を活用した多様なツーリズムの展開 ㉑多様で魅力ある観光体験として、文化・健康・娯楽ツーリズムの推進 ㉒地域資源を活かした地域ブランド構築の推進	■地域資源 ⑱中城城跡をはじめとして、新垣グスク、ペリーの旗立岩、護佐丸の墓、安里のテラ、伊舎堂前の三本ガジュマル、泊りの大草ディサー等の歴史的環境 ■地域ブランド ⑲中城村ブランドの確立	■地域資源 ⑱内間御殿などの地域資源の発掘と活用、地場産品の開発	■県並びに周辺市町村、民間企業との連携 ⑲広域的な地域の連携による修学旅行等の誘致及び体験型観光の整備・開発の推進及び観光関連事業に関わる人材育成事業の充実 ⑳県と一体となって、MICE利用者に提供する観光メニューを整備し、本町ならではの体験を通して消費拡大を図る ㉑学校や観光ガイド等と連携し、外国人の対応を含	■他市町村との連携 ⑪近隣市町村と連携した観光客の利便性向上に向けた取り組みの推進 ■景観 ⑫無電柱化が実施されるタイミングで修景案の検討 ■その他 ⑬既存イベントの進化や市場調査に基づく観光メニューの開発と普及 ⑭平成31年度に全面供用開始予定の大型駐車場、令和5年度に供用開始予

観光関連	沖縄県	沖縄市	うるま市	北中城村	中城村	西原町	与那原町	南城市
			<p>線の地中化等による道路及びその沿道の景観形成を促進</p> <p>⑱観光拠点間を結ぶ雰囲気ある道づくり、案内標識の整備等、回遊しやすい環境への転換</p> <p>■地域資源</p> <p>⑲勝連城跡周辺の観光資源との連動や地域資源を活用した観光ルートの検討</p> <p>⑳具志川地域の安慶名城跡、石川地域の伊波城跡</p> <p>㉑勝連城跡を含め、安慶名城跡、仲原遺跡、伊波貝塚の4件の国指定文化財が存在</p>				<p>めた観光人材の育成に努め、来訪者に対するおもてなしの向上を図る</p> <p>㉒南部地域の広域的連携による観光・教育旅行等の誘致及び体験型観光の整備・開発を推進</p> <p>■地域資源</p> <p>㉓地域の資源の発掘と歴史や伝統文化である大綱曳や東御廻り等の史跡を活用</p>	<p>定のバスターミナルの観光活用を検討</p>

## 4. 拠点形成等

沖縄県：○21世紀ビジョン基本計画 ○広域都市計画 ○観光関連計画等  
 市町村：○総合計画 ○都市計画マスタープラン ○観光関連計画等

土地利用	沖縄県	沖縄市	うるま市	北中城村	中城村	西原町	与那原町	南城市	
拠点形成	<p>■東海岸一帯</p> <p>①与那原町から中部都市圏にかけての東海岸は大型MICE施設及びそれに関連する機能を配置するとともに緑を保全しつつリゾート性を高めた自然環境と共生する空間の形成を促進</p> <p>②都市圏軸と東海岸の交流連携軸を中心に広域都市圏を創り上げる</p>	<p>■中城湾港</p> <p>①中城湾港、泡瀬漁港の準工業地域を大規模店舗等の立地を抑制する特別用途地区等に指定</p> <p>②中城湾新港地区の港湾機能・流通加工拠点機能等と連携し、新たなビジネスの創出に努め、ものづくり産業を振興</p> <p>■その他</p> <p>③中心においてはミュージックタウン音市場や沖縄子ども未来ゾーン等の拠点施設と総合的・一体的となった地域づくりに取り組む</p> <p>④都市拠点機能と都市福利機能を活かしつつ、利便性の高い公共施設や民間施設の誘導により、安慶田地区における土地区画整理事業や山里第一地区の市街地再開発事業を実施</p>	<p>■県道33号線</p> <p>①県道33号線(具志川沖縄線)沿道は商業や業務サービス施設等の立地誘導を促進</p> <p>②県道33号線沿いは農水産業振興戦略拠点施設や大型店舗の立地が増加しており、引き続き商業施設の集積等発展が期待される地域であることから、農業振興との整合を図りつつ土地利用に取り組む</p> <p>■中城湾港</p> <p>③中城湾港新港地区を産業支援港として位置付け</p> <p>④中城湾港新港地区に隣接する地域は農水産業振興戦略拠点施設や大型店舗の立地が増加しており、引き続き商業施設の集積等発展が期待される地域であることから、農業振興との整合を図りつつ土地利用に取り組む</p> <p>■その他</p> <p>⑤東海岸開発基本計画は市道整備等実現性の高い事業から取り組む</p> <p>⑥沖縄科学技術大学院大学の設置に伴う、中城湾港新港地区への各種研究・産業施設の立地促進</p> <p>⑦市民芸術劇場は生涯学習・文化振興センターが整備されたことから、文化発信の拠点として同施設と連携し、文化振興に取り組む</p>	<p>■中城湾港</p> <p>①中城湾港新港地区の機能と駐留軍用地跡地の連携の可能性を踏まえた新規産業の誘致・育成等をはじめ、情報通信産業の振興を進める</p> <p>■ライカム地区(アワセゴルフ場地区)</p> <p>②アワセゴルフ場地区は商業・交流機能等の複合型商業交流地区に位置付け</p> <p>③ライカム地区における広域交流拠点・防災拠点の形成を進める</p> <p>④ライカム地区周辺の既成市街地は、老朽化住宅や細街路の解消、水路の整備等を含んだ再開発について検討</p> <p>■その他</p> <p>⑤国道329号東側の農地は都市的土地利用の需要が予想される</p> <p>⑥東海岸一帯は、市街地としての土地利用を検討</p> <p>⑦東海岸・安谷屋前原一帯、返還予定の軍用地(ロウワープラザ住宅地区、喜舎場住宅地区)については、新規市街地検討地域として村の発展に資する土地利用を検討</p>	<p>■中城湾港</p> <p>①中城湾港新港地区の機能と駐留軍用地跡地の連携の可能性を踏まえた新規産業の誘致・育成等をはじめ、情報通信産業の振興を進める</p> <p>■ライカム地区(アワセゴルフ場地区)</p> <p>②アワセゴルフ場地区は商業・交流機能等の複合型商業交流地区に位置付け</p> <p>③ライカム地区における広域交流拠点・防災拠点の形成を進める</p> <p>④ライカム地区周辺の既成市街地は、老朽化住宅や細街路の解消、水路の整備等を含んだ再開発について検討</p> <p>■その他</p> <p>⑤国道329号東側の農地は都市的土地利用の需要が予想される</p> <p>⑥東海岸一帯は、市街地としての土地利用を検討</p> <p>⑦東海岸・安谷屋前原一帯、返還予定の軍用地(ロウワープラザ住宅地区、喜舎場住宅地区)については、新規市街地検討地域として村の発展に資する土地利用を検討</p>	<p>■吉の浦公園他</p> <p>①吉の浦会館や吉の浦公園、護佐丸歴史資料図書館は村のタウンセンターとして拠点を形成</p> <p>②吉の浦公園にて、スポーツ・レクリエーション需要の動向を踏まえた交流拠点としての整備拡充</p> <p>■南上原地区</p> <p>③南上原地区は土地区画整理事業が進められている</p> <p>④南上原地区において都市的土地利用に対する需要増加が顕在化</p> <p>■その他</p> <p>⑤国道より海側は広域的な商業施設の立地を想定</p>	<p>■てだこ浦西駅周辺</p> <p>①駅周辺も含め、交通結節点の利点を活かしたまちづくり</p> <p>②新駅周辺商業地～既存近隣商業地に「近隣商業ゾーン」を配置</p> <p>■大型MICE周辺</p> <p>③マリントウン地区は国内外から施設利用者が訪れ、周辺地域に宿泊・商業施設の立地を促進し新たな賑わいと交流が創出される交流拠点の形成を図る</p> <p>④大型MICE施設が立地し商業・宿泊・レクリエーション機能などが集積する地域として中城湾沿いのマリントウン東崎を『マリントウンエリア』と位置づけ</p> <p>⑤マリントウン地区および後背地を含む中心商業地までの沿道に近隣商業ゾーンを位置づけ商業機能を誘導</p> <p>⑥国道329号線与那原バイパス及び主要地方道浦添西原線の沿線はMICE来場者の利便性を高める観光商業・宿泊施設等の立地を推進し「観光・商業ゾーン」の形成を促進</p> <p>■坂田交差点周辺</p> <p>④交通結節点や台地市街地の商業中心地の役割を持つ『サブ核』に位置づけ</p> <p>■中心核</p> <p>⑤主要地方道浦添西原線(都市軸)と国道329号(生活軸)の交差点周辺を『中心核』に位置づけ</p> <p>■その他</p> <p>④運動公園施設や学校施設を町民に広く開放し、健康づくりや交流の場としての利活用を促進</p> <p>④町民交流センターを文化振興の拠点として、文</p>	<p>■大型MICE</p> <p>①大型MICE施設の誘致を視野に入れた周辺環境の整備</p> <p>②与那原区、大見武区にて、大型MICE施設支援地区の整備計画。区画整理等による市街地整備の検討</p> <p>③大型MICE施設整備に伴い、来訪者の多様なニーズに対応できる機能の充実に努める</p> <p>④町民と大型MICE来訪者の車両の通行の合流や交錯を軽減する市街地整備の形成</p> <p>■マリントウン東浜地区</p> <p>⑤マリントウン東浜地区においては都市機能が集積する本町の特性を活かし、まちづくりを進める</p> <p>⑥マリントウン東浜地区については商業集積を図るとともに、既存商店街と一体的な商業拠点形成に努める</p> <p>⑦ウォーターフロントの魅力と、歴史・伝統・文化の薫る街の魅力を融合し、住民や来街者の利便性を高め、商業及び中心市街地の活性化に取り組む</p> <p>■その他</p> <p>⑧点在する庁舎や教育文化、福利厚生施設等の状況を的確に把握・分析し、適切に維持管理することにより行政サービスの向上に努める</p> <p>⑨東浜107番地は自動車スムーズに利用できる施設検討</p>	<p>■IC周辺</p> <p>①IC周辺やICアクセス道路沿道等を中心に宅地開発・土地利用の活発化が予想される</p> <p>②佐敷・玉城IC周辺を中心に交流空間の整備を図るとともに地域資源を活用した観光・交流を促進</p> <p>③佐敷・玉城IC一帯は先導的都市拠点として、市役所新庁舎等複合施設、公共駐車場等公共施設の集約整備を進める</p> <p>■その他</p> <p>④佐敷地域西部や大里地域中央部を、活発な都市活動の牽引や日常生活を支える都市拠点に位置付け</p> <p>⑤市中央部を、都市づくりにおいて先導的な役割を担う先導的都市拠点に位置付け</p> <p>⑥玉城地域南部や知念地域東部を、日常生活を支える農住拠点に位置付け</p> <p>⑦古堅地区、大城地区、読山原地区、仲伊保地区を、広域交通の利便性を活かした産業拠点として位置付け</p> <p>⑧大里城址公園、富祖崎公園、グスクロード公園、知念美咲公園を、レクリエーションや災害に強い都市づくり等を支える緑の拠点に位置付け</p>

土地利用	沖縄県	沖縄市	うるま市	北中城村	中城村	西原町	与那原町	南城市
						化・芸術活動の拠点となるよう、文化活動を支援 ⑤西原西地区区画整理事業は引き続き事業の進捗 ⑥西原西地区土地区画整理事業では都市基盤の整備、住宅地の確保、商店街及び地域コミュニティの向上を図る ⑦幸地地区幸地インターチェンジ周辺および徳佐田地区でだこ浦西駅周辺は土地利用見直しを検討するとともに西原中心核地区を含む「市街地整備プログラム」の改定を検討 ⑧国道329号沿道は娯楽の機能も備えた賑わいのある商業拠点を形成 ⑨臨海地域を横断する幹線道路を災害発生時における避難路として位置づけ中高層ビルや公共公益施設等を活用した避難体制を構築		
公園・緑地の整備、自然環境及び歴史文化の保全・活用	■保全・活用 ③中南部都市圏における東海岸側を自然的土地利用が主体の自然環境共生ゾーンと位置づけ ④斎場御嶽や城周辺の緑地環境の保全 ⑤観光活動によって自然・文化資源が保全される仕組みづくりを検討 ⑥自然・文化資源の保全と地域社会、経済への貢献等に配慮して、県全体および地域のバランスにあった開発・投資のための対応策を検討		■保全・活用 ⑧石川高原、天願川や石川川等、これらの自然環境と都市環境が調和した土地利用が必要	■保全・活用 ⑧中城城跡や御嶽等歴史文化資源の保全とともに、交流の場・憩いの場としての活用 ⑨中城城跡や中村家住宅、荻道貝塚等の保全 ⑩世界遺産中城城跡や国指定文化財である中村家住宅、「平成の名水百選」に選ばれた湧水など、豊かな自然や歴史文化を核とした体験・滞在型観光の開発を推進	■公園・緑地の整備 ⑥優良農地は積極的に農用地としての保全・活用 ⑦自然景観や田園風景等の魅力の維持・向上に努め最大限に活用 ⑧必要に応じて農振農用地の見直しを検討し、住宅用地等が確保できるよう推進 ■保全・活用 ⑨中城村の大部分を占めている農地や森林、海岸線等の自然環境に対し適切な保全を図る ⑩中城公園を核に周辺地域と一体となって自然・歴史的環境の保全と利活用を図る ⑪中城公園整備を推進しつつ、国指定史跡及び史跡以外の歴史的遺産についても保全・活用に取り組む	■公園・緑地の整備 ⑨森林区域の保全や緑化推進を図る ■保全・活用 ⑩地域に残る伝統文化の保存・継承や文化財保護思想の高揚を図るために諸事業を実施 ⑪歴史文化遺産は西原町歴史文化基本構想に基づいて保存活用計画を策定 ⑫歴史・文化の継承と文化遺産の保存・活用	■公園・緑地の整備 ⑩まちなかの公園へ公共還元型収益施設の設置を検討 ⑪与那原公園は公園区域の拡大や公園施設の整備等を検討 ■保全・活用 ⑫運玉森、雨乞森等の緑地は保全に取り組む。また、開発行為については慎重に精査・検討 ⑬添漁港から県道糸満与那原線の海岸線は、リーフが形成されており、自然資源として保全に努める	■保全・活用 ⑨斎場御嶽等の重要な歴史・文化遺産周辺の森林は、歴史・文化遺産の価値を支える自然環境として宅地開発を抑制 ⑩東御廻りに係る御嶽・グスク、琉球民族発祥の地として崇拝される久高島等、多くの歴史・文化遺産が存在 ⑪ハンタや丘陵地に広がる森林)やイノー(礁池)が広がるサンゴ礁の海等の自然環境 ⑫まちの魅力の維持・増進に向けた、自然環境や歴史・文化遺産の一層の保全・活用 ⑬自然環境や歴史・文化遺産を積極的に保全するとともに、観光・交流へ有効に活用することが重要であり、都市緑地法や景観法に基づく制度の導入・見直し等が必要 ⑭海岸周辺の観光・交流の土地利用は集約的・限定

土地利用	沖縄県	沖縄市	うるま市	北中城村	中城村	西原町	与那原町	南城市
								的に展開し、自然海岸や海岸林等の自然環境のまとまり・連なりを保全
その他		■都市のスプロール化の懸念 ⑤市北部や東部等、都市基盤が整っていない用途白地地域において人口増加及び新築動向が顕著。道路、公園等の後追いの整備が懸念される						

# 5. インフラ

沖縄県：○21世紀ビジョン基本計画 ○広域都市計画 ○観光関連計画等  
 市町村：○総合計画 ○都市計画マスタープラン ○観光関連計画等

インフラ	沖縄県	沖縄市	うるま市	北中城村	中城村	西原町	与那原町	南城市
広域幹線道路及び交通ネットワーク	<p>■交通ネットワーク</p> <p>①南部東道路等の幹線道路の整備を推進し、本島南北軸・東西軸を有機的に結ぶ幹線道路網(ハシゴ道路ネットワーク)の構築を図る</p> <p>②本島東西間を結ぶ県道24号線バイパス、沖縄環状線、浦添西原線などの整備を推進し、体系的な幹線道路網の構築</p> <p>③東海岸と西海岸の人・物の流れの効率化から東西幹線となる道路を整備し、総合的な交通体系の改善、整備を進める</p>	<p>■広域幹線道路</p> <p>①国道330号、国道329号等において慢性的な交通渋滞が発生</p> <p>②国道329号沖縄バイパスの事業化促進</p> <p>③石川バイパスを南伸させ池原から古謝、与儀を経て北中城村渡口へと連結する沖縄バイパスの事業化を促進</p> <p>④胡屋十字路からコザ十字路間の国道330号については、国事業とあわせた中央パークアベニューの相互通行化等に向け、関係機関と連携し段階的に道路機能の整備促進とともに沿道の土地利用計画を推進</p> <p>■交通ネットワーク</p> <p>⑤基幹バスの導入に向けて、国道330号における道路拡幅整備を促進し、コザ十字路付近の交通結節拠点整備を検討</p> <p>⑥沖縄南IC、沖縄北ICや東部海浜開発地区、中城湾港新港地区等主要な拠点を結ぶ、沖縄環状線の整備を促進</p>	<p>■広域幹線道路</p> <p>①石川インターチェンジ、沖縄北インターチェンジによる広域交通へのアクセスを担う。今後も、市内外を連絡する計画的な道路ネットワークの構築により利便性の高い道路交通の確保が必要</p> <p>■交通ネットワーク</p> <p>②勝連半島をネットワークする道路として、県道勝連半島南岸部道路等の整備促進を県に働きかける</p>	<p>■広域幹線道路</p> <p>①渋滞の解消に資する国道329号バイパス整備を検討</p> <p>②県道宜野湾北中城線(県道81号線)等の広域道路と中城公園アクセス線により利便性の高い道路交通の確保が必要</p> <p>■交通ネットワーク</p> <p>③沖縄自動車道の北中城インターチェンジと喜舎場スマートインターチェンジが立地し、国道330号、国道329号が南北に走る等、本島中南部の交通の要衝となっている</p> <p>④村域のほぼ中央で東西に結ぶ県道宜野湾北中城線(県道81号線)のほか、県道22号線、県道146号線等が道路網の骨格を形成</p> <p>⑤幹線道路である県道宜野湾北中城線(県道81号線)等の整備促進や村道の適正な維持管理、良好な沿道空間の形成に努める</p> <p>⑥交流促進に向けたスマートインターチェンジの高機能化や公共交通に関する取り組みを進める</p> <p>⑦喜舎場スマートインターチェンジのフルインターチェンジの促進</p> <p>⑧中城公園アクセス線や県道宜野湾北中城線(県道81号線)等広域道路交通ネットワークの整備促進に努める</p>	<p>■広域幹線道路</p> <p>①国道329号西原道路の早期実現の推進</p> <p>②広域幹線道路である国道329号が東側、沖縄自動車道が西側に南北に走り、東西方向に県道35号、県道146号で結ばれている</p> <p>■交通ネットワーク</p> <p>③南上原土地区画整理事業区域を南北に走る県道29号(那覇北中城線)は、県道35号と連結して台地域の縦軸となっている</p> <p>④吉の浦線、奥間南上原線、ウフクビリ線、安里中央線、潮垣線等が主要な地域間連携の機能を果たしている</p>	<p>■広域幹線道路</p> <p>①南北幹線となる沖縄自動車道や国道329号</p> <p>②東西幹線となる主要地方道浦添西原線</p> <p>③国道329号及び主要地方道那覇北中城線、主要地方道浦添西原線、一般県道宜野湾西原線はピーク時に混雑</p> <p>④都計道国道3・1・4与那原マリンタウン線をはじめ当該プロジェクトのポテンシャルを高める施設整備</p> <p>⑤国道329号バイパスの産業道路昨日の負荷(産業ゾーンの縦断)</p> <p>⑥国・県事業の国道329号西原道路の早期事業化に向け引き続き取組む</p> <p>⑦県道浦添西原線道路整備事業、県道那覇北中城線道路整備事業、小波津川河川改修事業等の早期整備に向けて県と連携</p> <p>■交通ネットワーク</p> <p>⑧シンボルロード(町道東崎兼久線、町道兼久安室線、町道呉屋安室線)をはじめとした道路網の構築及び排水施設等の整備</p>	<p>■広域幹線道路</p> <p>①国道329号と国道331号が交差する交通の要衝</p> <p>②国道329号与那原バイパスの整備による広域的な幹線道路網の機能強化</p> <p>③沖縄本島東部地域の交通の要衝として国道329号と国道331号が交差する位置にあり、国道329号与那原バイパスの整備が着手される等の広域的な道路網の整備が進められている</p> <p>④慢性的な交通渋滞を解消し、円滑な交通を図るため、国道329号与那原バイパスや県道糸満与那原線の主要幹線道路の整備を促進</p> <p>■交通ネットワーク</p> <p>⑤交通ターミナル等の公共交通結節点としての機能(大型MICE施設の誘致決定により観光客の流入も考えられる)</p> <p>⑥道路整備と公共交通政策との連携により、沖縄本島東部地域の交通の要衝として、交通結節機能の強化に取り組む</p>	<p>■広域幹線道路</p> <p>①「主要幹線道路」である南部東道路について、事業着手済区間(南風原南JCT〜つきしろIC)の早期完了を促進</p> <p>②南部東道路の調査区間(つきしろIC〜知念IC)については、早期のルート確定・事業化を促進(ルートについては、津波襲来時の避難路としての機能を確保するべく、当初案の大幅な見直しも検討)</p> <p>③南部東道路の早期整備・早期ルート確定</p> <p>④南部東道路とも一体となった、利便性の高い幹線道路網の整備</p>

インフラ	沖縄県	沖縄市	うるま市	北中城村	中城村	西原町	与那原町	南城市
既存の公共交通	<p>■沖縄都市モノレールの延伸</p> <p>④沖縄都市モノレールを沖縄自動車道(西原入口)まで延長するとともに、自動車から公共交通への転換を促すパークアンドライド駐車場等を整備</p>	<p>■バスの再編・整備</p> <p>⑦基幹バス導入等公共交通再編</p> <p>⑧沖縄県において検討されている基幹バスの導入</p> <p>⑨交通結節拠点から市内に展開するフィーダーバスや、既存のバス路線網を補完するコミュニティバスの導入について検討</p>	<p>■バスの再編・整備</p> <p>③一部の系統では、運行本数が限定的な運行となっている系統もあり、県や運行事業者と連携して利用者増加に向けて取り組む必要がある</p>		<p>■バスの再編・整備</p> <p>⑤コミュニティバス、デマンドタクシー等の利用促進</p> <p>⑥コミュニティバスと他の公共交通との接続強化を図る</p>	<p>■バスの再編・整備</p> <p>⑧自動車やバス等の公共交通網の充実によりアクセス性の向上や中心核及び周辺観光拠点との連携強化を図る</p> <p>⑨公共交通(バス等)の利便性向上と利用促進</p> <p>⑩バスセンター(東崎)の早期建設を促進</p> <p>⑪マリンタウン近傍に建設予定のバスセンター</p>		<p>■バスの再編・整備</p> <p>⑤公共交通の再編により、バス路線の拡充を図り、中核地やまちの拠点を結ぶ交通網を整備</p>
新規公共交通	<p>■公共交通ネットワークの構築</p> <p>⑤鉄軌道を含む新たな公共交通システムと地域を結ぶ利便性の高い公共交通ネットワークの構築に向け取組を推進</p>	<p>■公共交通の導入</p> <p>⑩長期的視点として、国道330号におけるモノレール延伸やLRT等鉄軌道の導入を検討</p> <p>⑪中心市街地における回遊性や交通の利便性を高めるため、循環バスの運行ルートの拡充を検討するとともに、民間駐車場の利用促進、自転車利用に向けた取り組み等、市民等が気軽に訪れることができるよう交通手段の拡充に取り組む</p>	<p>■公共交通の導入</p> <p>④新たな公共交通機関(BRT、LRT)の導入に向けて、周辺市町村や、既存のバス運行事業者等関係機関との意見交換を図る</p>	<p>■公共交通の導入</p> <p>⑨沖縄県による鉄軌道を含む新たな公共交通システムや少子高齢化や観光需要等に対応したコミュニティバス等新たな施策の導入を検討</p>		<p>■モノレール新駅との連携</p> <p>⑫駅前近辺に、パークアンドライドを含め多様な乗り換え需要に対応する駐車場や送迎空間の確保を促進</p> <p>⑬てだこ浦西駅・幸地インターチェンジ周辺地区の問題点及び将来動向の検討</p> <p>■その他</p> <p>⑭沖縄都市モノレールの更なる延伸や既存バス路線等も含めたフィーダー交通ネットワークの構築等を検討</p> <p>⑮沖縄都市モノレールの延長整備の進捗等も踏まえ周辺整備や道路網の機能強化及び公共交通の利便性の向上等を図る</p>	<p>■公共交通の導入</p> <p>⑦新たな公共交通システムの導入について検討</p> <p>⑧関係機関と連携し、新たな公共交通システムによる将来交通ネットワークの構築を目指す</p> <p>⑨本町と那覇市を結ぶ定時定速性に優れたLRT等による新たな公共交通システムの確立のため、住民、事業者、関係自治体との協力体制の構築を図り、国や県に事業実現のため働きかけを行う</p> <p>⑩新たな公共交通システムとの連携を図りながら、中南部方面からの公共交通機関や町内交通機関と接続する広域交通結節点として整備を図る</p>	<p>■公共交通の導入</p> <p>⑥地域の高齢化や来訪者・観光客の利便性に配慮した公共交通の充実</p> <p>⑦再編が予定されている公共交通(路線バス・デマンドバス)の活用を検討</p>
中城湾の利用	<p>■産業振興</p> <p>⑥新港地区においては、産業支援港湾としての整備を進めるとともに、那覇港との機能分担や定期船就航の実現等により物流拠点を形成</p> <p>⑦新港地区及び泡瀬地区は産業拠点、スポーツコンベンション機能をもつ港湾として位置づけ、整備促進を図る</p> <p>⑧沖縄IT津梁パークを中核に企業立地の促進、県内企業の高度化・多様化、人材の育成・確保、</p>	<p>■産業振興</p> <p>⑫中城湾港新港地区においては、流通・加工・情報分野の産業や研究機関等の集積を促進</p> <p>⑬中城湾港新港地区においては、貨物船等の定期就航を促進するため、運送費等を支援するとともに物流促進に関する調査等をおこなっており、今後は取扱貨物量増加を促進する取り組みが必要</p> <p>■港湾の整備</p> <p>⑭臨海部沿岸域については、陸域と海域の一体性に配慮するとともに、中</p>	<p>■産業振興</p> <p>⑤地域経済の活性化を図るため、県と協力して中城湾港東埠頭の整備促進、背後地の企業誘致、港湾貨物利用の促進が課題</p> <p>⑥中城湾港新港地区は特別自由貿易地区にも指定され、これらの機能を活かして、産業拠点として港湾の整備と合わせて事業所等の立地を促進していくことが課題</p> <p>⑦本地区東ふ頭が暫定供用開始されたことから、さらなる企業の集積を図るため、物流インフラの整</p>	<p>■環境整備</p> <p>⑩東海岸においては、親水性の向上を図り、自然とふれあえる水辺空間の創出</p>				

インフラ	沖縄県	沖縄市	うるま市	北中城村	中城村	西原町	与那原町	南城市
	<p>情報通信基盤の整備等に取り組む</p> <p>⑨中城港湾新港地区の東ふ頭の整備及びリサイクルポートとして静脈物流ネットワークの形成を図る</p> <p>■湾港の整備</p> <p>⑩中城湾港については、東海岸地域の活性化を図るため、新港地区、泡瀬地区及び西原与那原地区の整備を推進</p> <p>⑪クルーズ船寄港数が増加傾向にあるため、クルーズ船の受入体制の強化を図る</p> <p>⑫新港地区ではクルーズ船に対応した港湾機能の検討及び総合静脈物流拠点港(リサイクルポート)を推進</p> <p>■海洋レクリエーション</p> <p>⑬質の高い海洋レクリエーション環境を創出するため、那覇港、中城湾港、平良港、石垣港等において、観光拠点としてのマリーナ・人工ビーチ等の整備に取り組む</p> <p>■環境整備</p> <p>⑭中城港湾馬天地区の港湾改修を促進</p> <p>⑮住民の利便性確保及び観光振興の観点から久高島航路の維持を図る</p>	<p>城湾港新港地区や東部海浜開発地区等経済的機能や自然的・地理的特性を活かした土地利用を進める</p> <p>⑮臨海部については、自然的・地域的特性を活かした東部海浜地区の開発等、時代に対応した地域づくりを進める</p> <p>⑯広域連携によるクルーズ船の誘致促進</p> <p>■スポーツコンベンション</p> <p>⑰スポーツコンベンション拠点として土地利用を検討するとともに、海を生かした緑あふれる空間の形成を図る</p> <p>⑱東部海浜開発地区において、スポーツコンベンション拠点の形成に向けた基盤整備を推進</p> <p>■環境整備</p> <p>⑲東部海浜開発事業の実現に向けて、市民等と連携し、国や県に泡瀬地区埋立事業の早期整備の要請活動を行う</p> <p>⑳市民が利用できる人工ビーチの早期利用が図られるよう、国および県と一体的に取り組む</p> <p>㉑東部沿岸を含む親水性の確保や良好な水循環機能の整備等により、潤いある水辺空間、都市におけるオープンスペースの確保に取り組む</p> <p>㉒泡瀬漁港を中心とする地域において、漁港及びマリーナを中心に海を活かした交流と賑わいのある空間の形成、個性ある景観形成を促進</p>	<p>備、港湾の利用促進等物流機能の拡充が必要となる</p> <p>⑧中城湾港新港地区に立地する企業を対象とし、物流に関する各種支援事業を実施</p> <p>■リゾート開発</p> <p>⑨海岸線に残る自然環境の保全と活用を努めていくことが課題</p> <p>⑩海岸、港湾については、地域の活性化に寄与する物流拠点としての整備や旅客船ターミナル及びクルーズ船の接岸を可能とするための護岸整備等について、国・県に対して要請</p> <p>■環境整備</p> <p>⑪金武湾や中城湾に面した海岸線は海岸保全地域の良好な維持管理を管理者とともに促進(勝連半島や島しょ地域を取り囲む海岸線、具志川地域と石川地域の東側)</p>					
その他			<p>■離島へのアクセス</p> <p>⑫平安座島、宮城島、伊計島、浜比嘉島、藪地島(無人島)の5つの島は海中道路と橋によって本島と結ばれている</p>	<p>■生活の利便性の向上</p> <p>⑪県営中城公園へのアクセス道路の整備を検討</p> <p>⑫交通の要衝として、ライカム地区における広域交流拠点の形成</p>	<p>■周辺市町村との連携</p> <p>⑦隣接市町村との協力体制により、中城湾岸域を取り巻く開発動向と中南部における南北道路の連携強化に対応し、海岸地域の土地利用を軸として国</p>	<p>■周辺との連携</p> <p>⑯マリントウンの魅力を活かした交流拠点を創出</p> <p>⑰与那原町域との機能分担を図りながら一体的に魅力を高める</p>	<p>■地域活性化に係る基盤整備</p> <p>⑪商店街活性化のために駐車場を整備</p> <p>⑫東浜地区では都市基盤の整備と市街地の形成が図られており、既成市街地</p>	



インフラ	沖縄県	沖縄市	うるま市	北中城村	中城村	西原町	与那原町	南城市
			<p>⑬中部地区唯一の有人離島で島への交通アクセスは平敷屋港と津堅港を結ぶ海上交通のみ</p> <p>■発電所等</p> <p>⑭国の指定する重点港湾である中城湾港と重要港湾の金武湾港のほか、発電所や貯油施設が立地しており、県内のエネルギー供給の拠点となっている</p>	<p>⑬仲順比嘉線バイパス等、新たな道路の整備の検討</p>	<p>道 329 号バイパスの整備促進を検討</p> <p>⑧防災道路・避難道路として、普天間飛行場返還を見据え、国道 329 号から国道 58 号への横断道路の整備を促進</p>		<p>においても一体的な都市基盤の整備、公園や公共施設等の緑化を推進し、コンパクトで快適な市街地環境の創出や良好な住環境整備に努める</p>	